

# インテル® Parallel Studio インストール・ガイド/リリースノート

資料番号: 321604-004JA

2009/10/19

## 目次

1	はじめに.....	1
1.1	製品の内容.....	1
1.2	動作環境.....	2
1.3	ドキュメント.....	3
1.4	サンプル.....	3
1.5	テクニカルサポート.....	3
2	インストール.....	3
2.1	インストールの準備.....	3
2.1.1	64ビット・アプリケーション用の Visual Studio の設定.....	3
2.1.2	Microsoft Windows Vista へのインストール.....	4
2.2	インストール.....	4
2.3	インストール先フォルダー.....	4
3	著作権と商標について.....	5

## 1 はじめに

本ドキュメントでは、新機能、変更された機能、注意事項、および製品ドキュメントに記述されていない既知の問題について説明します。各コンポーネントのその他のリリースノートについては、インストール終了後、それぞれの Documentation フォルダを参照してください。

製品を初めてご利用になる場合は、「インテル® Parallel Studio の概要」(PDF 形式: Adobe\* Reader\* が必要です)を参照してください。インストール中、インストール・ウィンドウの左下に表示される [Getting Started (入門ガイド)] リンクをクリックするとこのドキュメントを参照できます。または、インストール終了後に、[スタート]>[すべてのプログラム]>[Intel Parallel Studio (インテル(R) Parallel Studio)]>[Getting Started (入門ガイド)]>[Parallel Studio Overview (インテル(R) Parallel Studio の概要)]をクリックします。

### 1.1 製品の内容

インテル® Parallel Studio には、次のコンポーネントが含まれています。

- インテル® Parallel Composer
- インテル® Parallel Inspector
- インテル® Parallel Amplifier
- Microsoft\* 開発環境への統合
- サンプルプログラム
- 各種ドキュメント

## 1.2 動作環境

アーキテクチャーの名称については、<http://software.intel.com/en-us/articles/intel-architecture-platform-terminology/> (英語) を参照してください。

- インテル® ストリーミング SIMD 拡張命令 2 (インテル® SSE2) 対応の IA-32 またはインテル® 64 アーキテクチャー・プロセッサをベースとしたコンピューター (インテル® Pentium® 4 プロセッサ以上、または互換性のあるインテル以外のプロセッサ)
  - インテル® プロセッサ以外のプロセッサによる互換性のない命令や専用命令により、本製品の解析機能が適切に動作しないことがあります。インテル® プロセッサでサポートされていないコードを解析しようとするすると失敗する可能性があります。
  - 機能を最大限に活用できるよう、マルチコアまたはマルチプロセッサ・システムの使用を推奨します。
- 2GB RAM
- 4GB のディスク空き容量 (すべての機能およびすべてのアーキテクチャー)
- Microsoft\* Windows XP\*、Microsoft\* Windows Vista\*、Microsoft Windows 7、Microsoft\* Windows Server\* 2003、Microsoft Windows Server 2008、32 ビットまたは "x64" エディション (エンベデッド・エディションはサポートされていません)
- Microsoft Windows Server 2008 にインストールする場合:
  - Microsoft\* Visual Studio\* 2008 Standard Edition (またはそれ以降のエディション) SP1 (C++ と [x64 コンパイラおよびツール] コンポーネントがインストールされていること) [1]
- Microsoft Windows XP、Windows Vista、Windows Server 2003 にインストールする場合、次のいずれか。
  - Microsoft Visual Studio 2008 Standard Edition (またはそれ以降のエディション)(C++ と [x64 コンパイラおよびツール] コンポーネントがインストールされていること) [1]
  - Microsoft Visual Studio 2005 Standard Edition (またはそれ以降のエディション)(C++ と [x64 コンパイラおよびツール] コンポーネントがインストールされていること) [1]
- アプリケーションのコーディング要件:
  - プログラミング言語: C または C++ (マネージドコードではなく、ネイティブ) [4]
  - 解析ツールでサポートされているスレッド化手法:
    - OpenMP\* [4]
    - インテルの C/C++ 並列言語拡張
    - インテル® スレディング・ビルディング・ブロック
    - Win32\* スレッド
- ドキュメントの参照用に Adobe Reader 7.0 以降

### 注:

1. Microsoft Visual Studio 2005/2008 Standard Edition では、[x64 コンパイラおよびツール] コンポーネントがデフォルトでインストールされます。Professional 以上のエディションでは、[カスタム] インストールが必要です。
2. インテル® Parallel Composer のデフォルト設定では、インテル® SSE2 命令対応のプロセッサを必要とする IA-32 アーキテクチャー・アプリケーションをビルドします。コンパイラ・オプションを使用して、任意の IA-32 アーキテクチャー・プロセッサで動作するコードを生成することもできます。
3. インテル® Parallel Composer でビルドされたアプリケーションは、上記の開発環境と同じ Windows のバージョンで実行できます。また、Windows XP よりも前の非エンベデッドの Microsoft Windows 32 ビット・バージョンでも実行できますが、インテルではこれらの互換性テストは行われていません。開発アプリケーションが、古い

バージョンの Windows にはない Win32 API ルーチンを使用している可能性があります。アプリケーションの互換性テストをご自身の責任で行ってください。アプリケーションを実行するには、特定のランタイム DLL をターゲットシステムにコピーしなければならないことがあります。

4. インテル® Parallel Composer、インテル® C++ コンパイラー 10.0 プロフェッショナル・エディションまたはそれ以降、Microsoft Visual C++ 2005/2008 でビルドされたアプリケーションは、インテル® Parallel Amplifier およびインテル® Parallel Inspector で解析することができます。OpenMP を使用するアプリケーションや Microsoft コンパイラーでビルドされたアプリケーションは、インテル® コンパイラーで提供されている OpenMP の「互換ライブラリー」とのリンクが必要です。

### 1.3 ドキュメント

インテル® Parallel Studio の各種製品ドキュメントは、各コンポーネントのフォルダー以下にあります。また、「入門ガイド」は、Parallel Studio フォルダーの Documentation フォルダー以下にあります。

### 1.4 サンプル

インテル® Parallel Studio の導入に役立つサンプルが Samples フォルダーに用意されています。サンプルは ZIP で提供され、書き込み可能なフォルダーに解凍してからご利用いただけます。各コンポーネントにもそれぞれのフォルダーにサンプルが用意されています。

### 1.5 テクニカルサポート

インストール時にコンパイラーの登録を行わなかった場合は、[インテル® ソフトウェア開発製品レジストレーション・センター](#)で登録してください。登録を行うことで、サポートサービス期間中(通常は 1 年間)、製品アップデートと新しいバージョンの入手を含む無償テクニカルサポートが提供されます。

テクニカルサポート、製品のアップデート、ユーザーフォーラム、FAQ、ヒント、およびその他のサポート情報は、<http://www.intel.com/software/products/support/> (英語) を参照してください。

**注:** 代理店がテクニカルサポートを提供している場合は、インテルではなく代理店にお問い合わせください。

## 2 インストール

### 2.1 インストールの準備

#### 2.1.1 64 ビット・アプリケーション用の Visual Studio の設定

Microsoft Visual Studio 2005 または 2008 を使用し、64 ビット・アプリケーションを開発する場合は、Visual Studio の構成を変更して、64 ビット・サポートを追加します。

Visual Studio 2005/2008 Standard Edition を使用する場合は、64 ビット・アプリケーションのビルド用に構成を変更する必要はありません。その他のエディションの場合は、次の操作を行ってください。

1. [コントロール パネル] の [プログラムの追加と削除] から [Microsoft Visual Studio 2005 (または 2008)] を選択し、[変更と削除] をクリックします。[Visual Studio メンテナンス モード] ウィンドウが表示されます。[次へ] をクリックします。
2. [機能の追加と削除] をクリックします。
3. [選択した機能をインストールします] で [言語ツール] の [Visual C++] を展開します。
4. [x64 コンパイラおよびツール] ボックスがオンになっていない場合は、オンにし、[更新] をクリックします。ボックスがオンの場合は、[キャンセル] をクリックします。

### 2.1.2 Microsoft Windows Vista へのインストール

Microsoft Windows Vista の場合、Visual Studio 2005 Service Pack 1 (VS 2005 SP1) と Visual Studio 2005 Service Pack 1 Update for Windows Vista (VS 2005 SP1 ページからリンクが提供) をインストールしてください。これらのアップデートをインストールした後に、管理者権限で Visual Studio が実行できることを確認してください。実行できない場合、インテル® コンパイラーを使用できません。詳細は、Microsoft の「Visual Studio on Windows Vista」ページ (<http://msdn2.microsoft.com/en-us/vstudio/aa948853.aspx>) (英語) と関連資料を参照してください。

## 2.2 インストール

初めて製品をインストールする場合は、インストール中にシリアル番号の入力が求められますので、あらかじめご用意ください。製品のインストールと使用には、有効なライセンスが必要です。

インストールを開始するには、製品 DVD-ROM を DVD ドライブに挿入します。自動でインストールが開始されます。自動で開始されない場合は、Windows エクスプローラで DVD-ROM ドライブのトップレベル・ディレクトリーを開き、`setup.exe` をダブルクリックします。

製品のダウンロード版を購入した場合は、ダウンロードしたファイル(.EXE) をダブルクリックして、インストールを開始します。

新しいバージョンをインストールする前に古いバージョンをアンインストールする必要はありません。古いバージョンが新しいバージョンに置き換わります。

## 2.3 インストール先フォルダー

以下のようなフォルダー構成で製品はインストールされます。一部含まれていないフォルダーもあります。インテル® Parallel Studio の他のツールがインストールされている場合は、トップレベルのフォルダーは共有されます。

- C:\Program Files\Intel\Parallel Studio\
  - Documentation
  - Samples
  - Amplifier
  - Composer
  - Inspector

英語以外の Windows システムにインストールする場合、Program Files フォルダー名は異なります。インテル® 64 アーキテクチャー・システムでは、フォルダー名は Program Files (X86) またはそれに相当する名前です。

### 3 著作権と商標について

本資料に掲載されている情報は、インテル製品の概要説明を目的としたものです。本資料は、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスも許諾するものではありません。製品に付属の売買契約書『Intel's Terms and Conditions of Sale』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責を負うものではなく、またインテル製品の販売や使用に関する明示または黙示の保証(特定目的への適合性、商品性に関する保証、第三者の特許権、著作権、その他知的財産権の侵害への保証を含む)にも一切応じないものとします。インテルによる書面での合意がない限り、インテル製品は、その欠陥や故障によって人身事故が発生するようなアプリケーションでの使用を想定した設計は行われていません。

インテル製品は、予告なく仕様や説明が変更される場合があります。機能または命令の一覧で「留保」または「未定義」と記されているものがありますが、その「機能が存在しない」あるいは「性質が留保付である」という状態を設計の前提にしないでください。これらの項目は、インテルが将来のために留保しているものです。インテルが将来これらの項目を定義したことにより、衝突が生じたり互換性が失われたりしても、インテルは一切責任を負いません。この情報は予告なく変更されることがあります。この情報だけに基づいて設計を最終的なものとししないでください。

本書で説明されている製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があります。公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。

最新の仕様をご希望の場合や製品をご注文の場合は、お近くのインテルの営業所または販売代理店にお問い合わせください。

本書で紹介されている注文番号付きのドキュメントや、インテルのその他の資料を入手するには、1-800-548-4725 (アメリカ合衆国) までご連絡いただくか、インテルの Web サイトを参照してください。

Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

© 2009 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。